

視察ルポ

副市長制 などを視察

《総務委員会》

総務委員会は、五月九日から十日までの日程で行政視察を行いました。

新潟県三条市では、総合計画の効果的に推進するための組織機構の改正について説明を受けました。新たに市長公室を設け、市民参加のまちづくりを一層推進するための市民活動担当スタッフを配置し、職員が市民の中に出かけて説明をする「アカウンタビリティ（説明責任）」、地方分権に対応した人材育成と意識改革を進めるために職員の民間企業への出向制度や昇格試験の導入など先進的な改正が行われていました。産業面では、隣接する燕市との広域施設「地場産業振興センター」を建設し、地場産業の広域的振興の効果ありとの説明を受けました。

新潟県上越市では副市長制について視察しました。助役二名、部長八名を副市長六名にし、副市長がそれぞれ所管を担当し、その執

行権限を持ち、当然責任も持つ。市民を身近に、より迅速な行政を進めるためとのこと。六人の副市長のうち二名を一般公募したのに対し、二百名の応募があったそうである。国や県、民間団体への長期派遣研修を行ったり、職員採用では専門的な知識経験を持つ社会人の採用を行うなど柔軟な行政が行われていました。上越市はこのほか環境の国際基準をクリアしたISO一四〇〇一認証も取得しています。

埼玉県熊谷市では熊谷文化創造館「さくらめいと」を視察しました。平成十年一月に開館した文化施設で、今回の調査目的であった法改正に伴う公益法人への職員派遣に関しては、まだ結論が出ていないとの説明がありました。

上越市を視察する総務委員会



上越市を視察する総務委員会

証明書自動交付 サービスなどを視察

《厚生委員会》

厚生委員会は、五月十六日から十八日までの日程で、行政視察を行いました。

大阪府羽曳野市では、「証明書自動交付サービス」について視察しました。本庁、各公共施設、郵便局に計八台の証明書自動交付機を設置し、印鑑登録証明書、外国人登録原票記載事項証明書、税関係諸証明書に範囲を拡大して、シテイクカードによる各種証明書発行サービスを行うものです。平成十二年度の利用状況は、住民票については窓口交付の二十六・四四％、印鑑登録証明書については五十六・三六％もの利用がなされたということでした。

大阪府枚方市では、保育事業全般について視察しました。枚方市は一般会計一千三十五億円のうち、八十二億円を保育諸費が占めている保育事業の先進地です。公立保育所十八カ所、私立保育所三十三カ所、待機児童は平成十三



羽曳野市を視察する厚生委員会

年五月現在で二百二十八人、簡易保育所十一カ所に九十人が入所しています。本市と同じように待機児童の解消に取り組んでいます。市立・私立保育所に入所を希望しながら、定員などの理由で待機している乳幼児を保育する施設である簡易保育施設を初め、一時保育、病幼児保育などの特別保育事業など、どれも春日市にとって大変参考になるものでした。

京都府亀岡市では、介護保険制度について視察しました。亀岡市の介護保険制度の特色は低所得者に対する施策を重点に考え、第一号被保険者の保険料対策として、全国でもまれである六段階制の所得区分を定めることで、第一及び第二段階区分の介護保険料を減免しているものでした。質疑応答の後で、老人介護支援センター等の視察もあわせて行いました。

編集後記

梅雨のさなかの六月定例議会も無事終了しました。六月定例会中は毎年、水害の心配をするものですが、今年は幸い春日市では大きな被害もなく梅雨が明けたことを喜んでいきます。

六月定例会から、傍聴なさっておられる方やケーブルテレビをご覧になられる方にわかりやすいものにするために一般質問の方法を改善しました。議会報も毎回研究を重ね「より良いものを」と願って発行していきます。

市民のみなさまのご意見やアドバースをお寄せください。
(村山)

- 議会報編集特別委員会
- 委員長 藤井俊雄
- 副委員長 岩切幹嘉
- 委員 村山正美
- 委員 塚本良治

次の定例会は
9月5日(水)に
開会の予定です